

会社・株主間契約の理論と実務

——合併事業・資本提携・スタートアップ投資

田中 亘 = 森・濱田松本法律事務所 編

2021年3月発売 / 476頁 / 定価 4620円 (税込)
A5判 / 並製



編集
担当者
から

新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちの生活は一変しました。このことは企業に関しても同様で、ほかにも、国内市場や国際秩序の変容、DXの加速など、企業を取り巻く環境は大きく変化し、多くの課題が立ち現れています。これらの解決のために、企業間の連携や投資の重要性が増しています。

企業間の連携や投資においては、会社と株主の間で、あるいは株主同士の間で、各当事者の利害や事情を踏まえ、契約が結ばれます。この契約は実務上幅広く利用され、当事者にとってもきわめて重要なものです。

しかしこれまで、こうした契約についての理論的な分析は、十分には存在していませんでした。そこで、第一線の研究者・実務家が一堂に会し研究会を行い、その成果を本書にまとめました。具体的な契約条項を取り上げつつ、その有効性や効力、そして、実現手段について、法的論点が検討されています。

本書は、実務に直結する有益な一冊です。また、最先端の実務・理論に触れる一冊として、学生の皆さんにも手を伸ばしていただけたらと思います。(F・M)

Index

I

実務のニーズや問題意識を共有した上で、理論的検討を深めています。

- 序章 株式会社における当事者の合意によるアレンジメントの法律問題〔田中 亘〕
- 第1編 実務編
 - 第1章 合併事業における会社・株主間契約〔塩田尚也 = 松下 憲 = 近澤 諒 = 宮原拓郎 = 川本 健〕
 - 第2章 上場会社における会社・株主間契約〔石綿 学 = 内田修平 = 福田 剛 = 芝村佳奈〕
 - 第3章 スタートアップ投資 (ベンチャー投資) 〔棚橋 元 = 戸嶋浩二 = 辻 純一 = 保坂泰貴〕
- 第2編 理論編
 - 第4章 ガバナンスに関する合意〔松中 学〕
 - 第5章 法定決議事項について第三者を介在させる合意〔森田 果〕
 - 第6章 株式に関する合意〔飯田秀総〕
 - 第7章 派遣取締役の法的地位〔後藤 元〕
 - 第8章 上場会社におけるガバナンスに関する合意〔加藤貴仁〕
 - 第9章 上場会社における株式に関する合意〔白井正和〕
 - 第10章 スタートアップ投資契約に特徴的な定め〔松尾健一〕
 - 第11章 会社・株主間契約：民法学の視点から——各種の契約条項とその内容の実現〔吉政広〕
 - 第12章 会社・株主間契約——民事手続法学の視点から〔垣内秀介〕

※小社ウェブサイトの本書のページもご覧ください。

